　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成29年　　月　　日

オンリーワンを目指す企業　応募申請書

次のとおり、オンリーワンを目指す企業に応募します

１　企業概要

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな） |  |
| 企　業　名 |  |
| （ふりがな） |  |
| 代表者の職・氏名 | 印 |
| 本社所在地 | 〒 |
| （県外本社の場合）  県内工場・研究所の概要 | 事業所名 |
| 所 在 地 |
| 従業員数 |
| 業　　種  ※日本標準産業分類の中分類 |  |
| 担当者の職・氏名  連絡先 |  |
| TEL　　　　　　 　 　　　FAX  Email |

２　主要経営指標

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 期別 | 年　　月期  （三期前） | 年　　月期  （二期前） | 年　　月期  （前期） |
| 資本金（百万円） |  |  |  |
| 自己資本比率（％） |  |  |  |
| 売上高（百万円） |  |  |  |
| 経常利益（百万円） |  |  |  |
| 従業員数（人） |  |  |  |

　　　※　自己資本比率＝自己資本÷総資本×100

３　応募類型

　　次のいずれかに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①（自社製品保有型） | ②（受託加工型） |
| 優れた独自技術を活用した製品・技術、サービスを保有し、市場で一定以上のシェアを占める企業 | 加工等の技術水準が極めて高い企業 |

４　技術・製品の内容

・記入欄に字数制限はありません。

・スペースが不足する場合は、記入欄の

　行数を適宜増やしてください。

（１）独自技術を活用した製品等を保有している場合（３①「自社製品保有型」の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 内　　　　容 | | | |
| ①優れた独自技術を活用した製品等（以下「独自製品等」と言います。）の名称・内容を簡潔に記入してください。 | 名　称：  内　容： | | | |
| ②独自製品等の強み（市場における優位性、他社にないセールスポイント）を具体的に記入してください。 | ［非価格面］  ［価格面］ | | | |
| ③独自製品等の強みが取引内容（納期や設計、価格の設定等）にも反映されていると考える場合は、その内容を記入してください。 |  | | | |
| ④独自製品等の上市時期を記入してください。 | 上市時期：　　　　年頃 | | | |
| ⑤独自製品等に係る現在の市場規模とその積算の考え方を記入してください。  今後の市場の成長見通しも記入してください。 | 国内市場規模　　　　億円、海外市場規模　　　　億円  【積算の考え方】  【今後の成長見通し】 | | | |
| ⑥独自製品等の売上高及び市場シェア等を記入してください。今後の売上高・シェアの見通しも記入してください。 | 国内売上高　年　　　億円・シェア　　％・取引先数　　　社  海外売上高　年　　　億円・シェア　　％・取引先数　　　社  【今後の見通し】 | | | |
| ⑦独自製品等の生産管理体制（ISOの認証取得、技能検定資格者の配置等）について記入してください。 |  | | | |
| ⑧独自製品等（又はそのコアとなる技術）に関して取得した知的財産権があれば記入してください。 | 商標権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 特許権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 実用新案権　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 意匠権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| ⑨独自製品等（又はそのコアとなる技術）に関して表彰歴があれば記入してください。 | 名称 | 内　　　容 | 時　期 | |
|  |  |  | |
|  |  |  | |
|  |  |  | |
| ⑩独自製品等（又はそのコアとなる技術）に関してテレビ、新聞、雑誌等への掲載歴があれば記入してください。 | メディア名 | 掲載のタイトル | | 時期 |
|  |  | |  |
|  |  | |  |
|  |  | |  |

（２）加工等の技術水準が極めて高い場合（３②「受託加工型」の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 内　　　　容 | | | |
| ①優れた技術（以下「屈指の技術」と言います。）の内容を簡潔に記入してください。 |  | | | |
| ②屈指の技術がどのような点で業界水準を上回っているのか具体的に記入してください。 | ［非価格面］  ［価格面］ | | | |
| ③屈指の技術の強みが取引内容（納期や設計、価格の設定等）にも反映されていると考える場合は、その内容を記入してください。 |  | | | |
| ④屈指の技術の競争者数（競合他社の想定数）を記入してください。 | 国内　　　社  世界　　　社 | | | |
| ⑤屈指の技術の品質管理体制（ISOの認証取得、技能検定資格者の配置等）について記入してください。 |  | | | |
| ⑥屈指の技術に関して取得した知的財産権があれば記入してください。 | 商標権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 特許権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 実用新案権　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| 意匠権　　　　件　主な内容（　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| ⑦屈指の技術に関しての表彰歴があれば記入してください。 | 名称 | 内　　　容 | 時　期 | |
|  |  |  | |
|  |  |  | |
|  |  |  | |
| ⑧⑥及び⑦のほか、屈指の技術の水準の高さを客観的に示す事項があれば記入してください。 |  | | | |
| ⑨屈指の技術に関してテレビ、新聞、雑誌等への掲載歴があれば記入してください。 | メディア名 | 掲載のタイトル | | 時期 |
|  |  | |  |
|  |  | |  |
|  |  | |  |

５　技術力向上及び業務プロセス管理

　　次の点についてご記入ください。

　①　独自技術を高度化・発展させてきた経緯・取組

　②　技術力向上のための体制整備の取組（技術革新等を担う組織・人員体制、年間の研究開発費）

　③　知財戦略、品質管理・品質保証の取組（JIS・ISOの取得等）

|  |  |
| --- | --- |
| ①技術高度化の経緯 |  |
| ②技術開発の推進体制 |  |
| ③知財戦略、品質管理の取組 |  |

６　経営理念、方針、社是、創業者・経営者の哲学等

　　企業活動の基本姿勢、企業発展の目標・理念などについて、社内に明示し、注力している事項があれば記入してください。特にオンリーワン企業を目指すことと関りのある事項があれば、漏れなく記入してください。

|  |
| --- |
|  |

７　地域貢献等

　　地域経済・社会との関わり、社会貢献などについて記入してください

|  |  |
| --- | --- |
| 地域雇用 | 県内在住の従業員　　　　　　　　　約　　　名　（　　％）  地元市町在住の従業員　　　　　　　約　　　名　（　　％） |
| 地域取引 | 県内事業所からの仕入取引　　　　　約　　　社　（　　％）  県内事業所からの仕入取引額　　　　約　　　億円（　　％）  地元市町内事業所からの仕入取引　　約　　　社　（　　％）  地元市町内事業所からの仕入取引額　約　　　億円（　　％） |
| 社会活動 |  |

８　オンリーワンを目指すための取組（事業計画）概要

|  |  |
| --- | --- |
| 現在の課題 |  |
| 取組概要 |  |
| 成果目標 |  |
| 具体的内容  （時期、場所、内容等） | 【販路開拓事業】 |
| 【製品開発・改良事業】 |
| 【人材育成・確保事業】 |

９　経費配分　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業  区分 | 経費区分 | 補助事業に要する経費  （税込） | 補助対象経費  （税抜） | 補助金申請額 | 経費の積算 |
| 販路開拓事業 | 謝金 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |
| 庁費 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 小　　計 |  |  |  |
| 製品開発・改良事業 | 原材料費 |  |  |  |
| 外注加工費 |  |  |  |
| リース料 |  |  |  |
| 調査研究経費 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 小　　計 |  |  |  |
| 人材確保・育成事業 | 謝金 |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |
| 手数料 |  |  |  |
| 負担金 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 小　　計 |  |  |  |
| 計 | |  |  |  |  |

　（注）補助金申請額は、補助対象経費の１／２以内（上限100万円）で、千円未満は切り捨てること。

10　暴力団排除について

|  |
| --- |
| 下記内容について、　□　同意する。　　／　□　同意しない。  （いずれかにチェックしてください） |
| 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号。以下「条例」という。）を遵守し､暴力団排除に協力するため、下記の(1)～(3)について、該当しないことを誓約します。  　(1)　条例第２条第１号に規定する暴力団、又は第３号に規定する暴力団員に該当しないこと。  　(2)　暴力団排除条例施行規則（平成23年兵庫県公安委員会規則第２号）第２条各号に規定する暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者に該当しないこと。  　(3)　上記(1)及び(2)に違反したときには、オンリーワンを目指す企業の認定の取消しその他県が行う一切の措置について異議を述べないこと。 |